

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 11. 20

下水道機構の『新技術情報』 第309号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

昨日から会う人、会う人「寒くなったね～」という言葉から会話が始まりました。小樽では平年の10倍以上の積雪33センチを観測したということで、小樽在住の友人へ連絡してみると雪かき作業でヘトヘトになっていました。全国的な寒さとなっているようですね。風邪やインフルエンザなど体調に気をつけて、今週も元気にお過ごしください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第309号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・12/14(木)開催の技術サロンのテーマが決定しました！

■機構の動き

- ・今週は、11/20(月)に管路技術共同研究委員会を開催します

■Tea Break

- ・冬将軍襲来（神原事務局長からの投稿です）

■まる子のゆいまーる

- ・研究第二部の桑原研究員より海外出張報告(WEFTEC2018@シカゴ)をお届けします！

■国からの情報

- ・11/17付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

●12/14(木)開催の技術サロンのテーマが決定しました！

「トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”」をテーマに、公益社団法人日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介 氏をゲストにお迎えしご

講演いただきます。多数の皆様のご参加お待ちしております！

行事：第 365 回技術サロン

場所：機構 8 階 中会議室

日時：平成 29 年 12 月 14 日(木) 16:00~17:00

ゲスト：公益社団法人日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介 氏

テーマ：「トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●行事：平成 29 年度第 1 回管路技術共同研究委員会

場所：滋賀県栗東市

日時：平成 29 年 11 月 20 日(月) 13:00~16:00

案件：自立管の製管工法（ら旋巻管）に関する共同研究（新規）

●第 67 回下水道新技術セミナー「地域バイオマスの展開」

【東京会場】日時：平成 29 年 11 月 28 日(火) 13:00~16:45(受付 12:30~)

場所：東京都港区 発明会館

【定員】東京会場 250 名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

○行事：第 365 回技術サロン

日時：平成 29 年 12 月 14 日(木) 16:00~17:00

場所：機構 8 階 中会議室

講演者：(公財)日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介 氏

テーマ：「トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●冬将軍襲来 (神原事務局長からの投稿です)

今季最大の寒波により、北日本から日本海側にかけて、この時期としては珍しい大

雪が降っていますが、日本有数の豪雪地帯で知られる八甲田山の山麓にある酸ヶ湯温泉では、すでに 80 センチの積雪を記録したとのこと。

毎年クリスマス寒波のおかげで、なんとか年末には八甲田のパウダースノーを楽しむという状況でしたが、この時期にこれだけの積雪というのは、今年の年末は十分かつ良質なパウダーが期待できそうな予感です。

以前にも紹介しましたが、八甲田はバックカントリースキーを楽しむには上級者にはもちろんですが、山岳ガイド組織も充実しており、滑る斜面も豊富なことから入門者向けの山でもあります。

山麓から一気にロープウェイで 1300 メートルの山頂駅まで登ることができ、山頂駅からはダイレクトにスキー場に滑り降りるゲレンデスキーヤーもいますが、ほとんどの人は山岳ガイドによるバックカントリーを目的に来ているので、スキーヤーはシールを、スノーボーダーはスノーシューを履いて、厳冬期は雪が深いため遠出が出来ないので、1 時間程度をかけて滑る斜面へと移動し、そこから山麓を目指してブナや、ダケカンバの林を縫って滑り降りるという半日コース（午前・午後の 2 回）となりますが、初心者でもガイドがお客の技量に応じて班編成やコースを選択してくれるので安心して安全に楽しくバックカントリーを満喫できます。

ただ、過去には 2 月の厳冬期に山岳ガイドが率いるツアーでスキー客が雪崩に巻き込まれ二人が死亡するという痛ましい事故も発生している。

この雪崩事故を受けて八甲田には主な山岳ツアーガイドの団体が 4 団体ありますが、それらが加盟する「八甲田山ガイド連絡会」という任意団体を組織して、全国で初めてという優良ガイドに独自の資格を与える認定制度を導入したり、ガイド間で情報共有を図ったり、本格的なシーズン入りの前には、認定ガイドを対象に実践的な講習会を実施するなどして事故防止に努めています。何よりも入山する我々も自己責任でビーコンの装着とか防寒対策など身を守る基本的な装備をして臨まなければなりません。

私が、毎年お世話になっているガイドは八甲田山ガイドクラブという組織ですが、彼らは元々は八甲田山麓にある城ヶ倉温泉の従業員で、宿泊客へのサービスとして無料で山を案内していたのが、平成 4 年頃にガイド専門の組織として立ち上げたのが始まりで、八甲田山有料ガイドの草分け的存在です。それから有料のガイド専門の組織が増えて現在に至っているという状況です。

八甲田に行き始めてから 30 年以上になりますが、お客さんの変遷はありましたが、ガイドクラブのメンバーとは（宿の従業員当時も含め）長いおつきあいとなっており、今シーズンも、また、素晴らしいメンバーとともにバックカントリーを楽しみたいと思っております。

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○○。

●研究第二部の桑原研究員より海外出張報告 (WEFTEC2018@シカゴ) をお届けします！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-11-20>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2017. 11. 17 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂園洋昭

=====

来週 23 日 (木) は、祝日 (勤労感謝の日) ですね。土日と連続しない、飛び日の祝日は久しぶりだなと思い、手帳のカレンダーを遡るとちょうど 1 年前の 11 月 23 日までありませんでした。3 連休もいいですが、週の中日の祝日は仕事に休憩をもらったようで、嬉しい気分になります。1 年ぶりの貴重な休日。どうやって過ごしましょう。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ 死亡事故増大に伴い非常事態宣言！！ (下水道事業課)

=====

○ 死亡事故増大に伴い非常事態宣言！！ (下水道事業課)

平成 29 年 11 月 8 日時点において、工事事故における死亡事故の発生件数は 8 件と過去 5 年間で最多の状況であり、死亡事故以外を含む全体の発生件数についても、58 件と過去 5 年間で最多となっています。

工事等が本格化する年度末に向けて、これから事故が増えることを踏まえると、現在の状況は非常事態ともいふべき状況であり、下水道部は、11 月 9 日付けで事務連絡を発出し、安全管理の徹底を呼びかけています。

下水道管理者におかれましては、工事、維持管理作業における元請業者及び下請業者等に対し、安全に関する講習会・研修会、安全パトロール等を臨時で実施することにより、改めて、現場の隅々まで安全管理の徹底に努めていただくようお願いいたします。

=====

【参考情報】

◆水害防止へ 地下調整池はプラスチック製

校庭と公園用地に整備 建設費減、強度は十分 〈11/6 河北新聞〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201711/20171106_13034.html

◆下水のノロウイルス測定し注意喚起 初の実証実験 仙台 〈11/15 NHK NEWS WEB〉

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20171115/k10011224741000.html>

◆下水道インフラ輸出巻き返し 「品質は世界トップ級」、国交省が技術展開支援

〈11/15 産経Biz〉

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/171114/mca1711142210021-n1.htm>

◆松山市にバイオマス発電 豊田通商、来年1月稼働 〈11.15 産経WEST〉

<http://www.sankei.com/west/news/171115/wst1711150078-n1.html>

◆マンホールのふたに綿花デザイン 倉敷市、日本遺産認定を記念 〈11/16 山陽新聞〉

<http://www.sanyonews.jp/article/628274>

◆大雨浸水解消へ期待 仙台で専用下水道のトンネル掘削進む 〈11/16 河北新聞〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201711/20171116_13018.html

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
